

新庄小学校分離新設校及び新設公民館等
設計・建設・維持管理事業

事業者選定結果

平成 19 年 12 月

富 山 市

「新庄小学校分離新設校及び新設公民館等設計・建設・維持管理事業」に係る事業者の選定に関する評価結果を、次のとおり公表する。

平成 19 年 12 月 13 日

富山市長 森 雅 志

新庄小学校分離新設校及び新設公民館等設計・建設・維持管理事業
事業者選定結果

目 次

1. 事業者選定の経緯等	1
1.1 事業者選定の経緯	1
1.2 事業者選定方式	1
1.3 事業者選定方法及び手順	1
2. 事業者選定の体制等	3
2.1 事業者選定の体制	3
2.2 選定委員会	3
3. 審査結果	3
3.1 入札参加資格審査	3
3.2 加点項目審査	4
3.3 落札者の決定	5
3.4 市の財政負担の削減効果	5

1. 事業者選定の経緯等

1.1 事業者選定の経緯

事業者選定までの主な経緯は、以下のとおりである。

・ 事業概要説明会	平成19年 2月 9日
・ 実施方針の公表	平成19年 5月 23日
・ 特定事業の選定、公表	平成19年 5月 31日
・ 入札公告	平成19年 6月 27日
・ 事業者説明会	平成19年 6月 28日
・ 入札書及び事業提案の受付締切	平成19年 10月 29日
・ 開札	平成19年 12月 7日
・ 落札者の決定・通知、公表	平成19年 12月 13日

1.2 事業者選定方式

本事業を実施する事業者には、本施設の整備、維持管理業務の各業務を通じて、効率的・効果的かつ安定的・継続的なサービスの提供を求めるものであり、事業者の幅広い能力・ノウハウを総合的に評価して選定することが必要である。したがって、事業者の選定にあたっては、入札価格及び施設整備の性能等、本市の要求するサービス水準との適合性、維持管理業務における遂行能力や事業計画の妥当性、資金調達計画の確実性、リスク負担能力等の各面から総合的に評価し落札者を決定する総合評価一般競争入札方式を採用した。

1.3 事業者選定方法及び手順

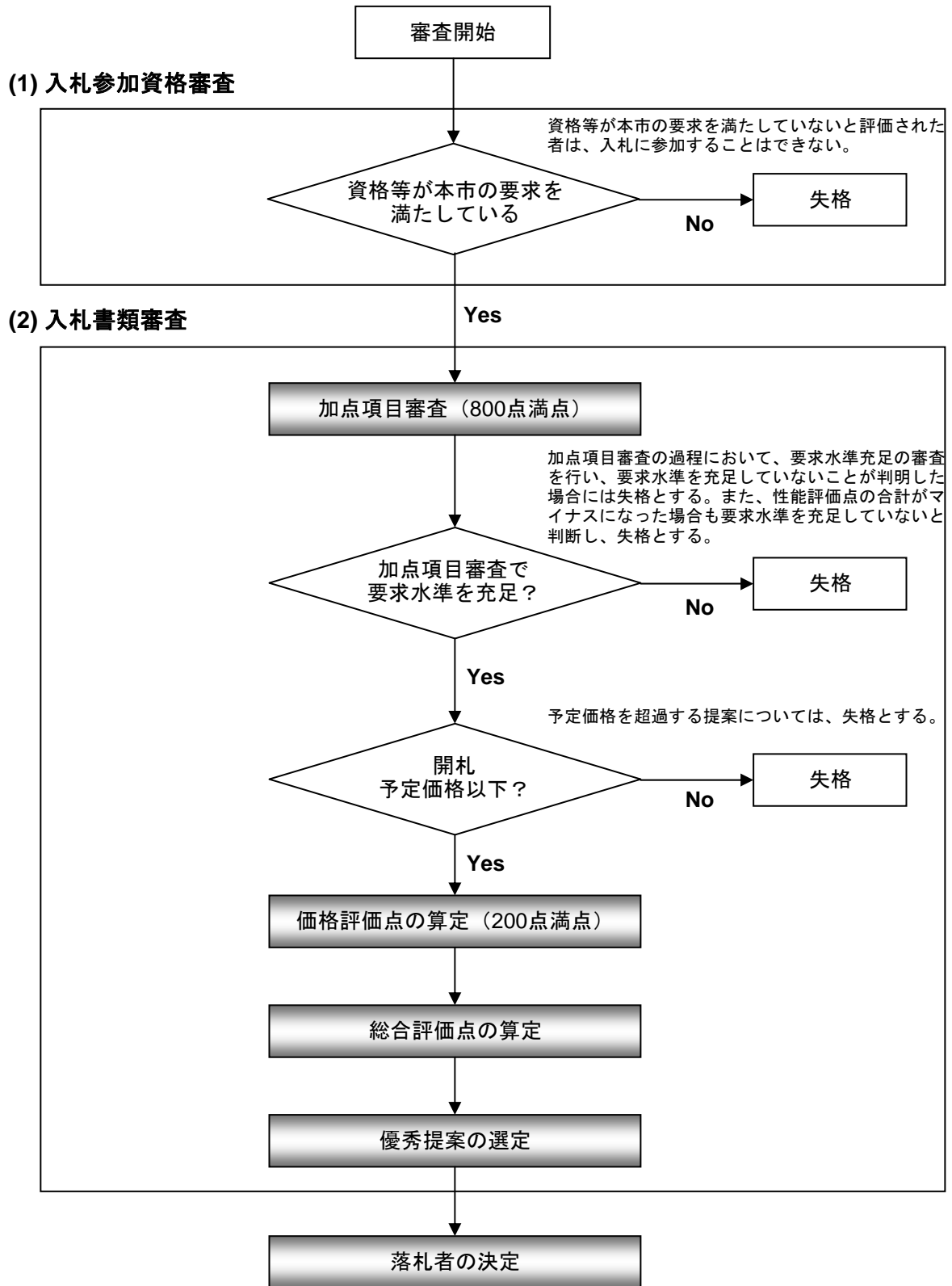
事業者の選定は、入札参加資格審査及び入札書類審査により行った。

入札参加資格審査では、入札参加者の参加資格について本市が審査を行い、入札参加者の選定を行った。

入札書類審査では、各業務に関する具体的な提案内容の審査（加点項目審査）を行い、提案価格の評価とあわせて総合評価を行った。

なお、入札参加資格審査の結果は、入札書類審査の対象となる入札参加者を選定する目的のみ用い、入札書類審査における評価には反映させないこととした。

審査手順は、以下のとおりである。



2. 事業者選定の体制等

2.1 事業者選定の体制

総合評価一般競争入札方式を実施するにあたり、専門的見地からの意見を参考とするために、学識経験者等で構成する「事業者選定委員会（新庄小学校分離新設校及び新設公民館等設計・建設・維持管理事業）」（以下、選定委員会と称す。）を設置した。

選定委員会は、入札参加者から提出された入札提出書類の審査を行い、本市は、選定委員会からの報告を受けて、落札者を決定した。

2.2 選定委員会

選定委員会の構成は、以下のとおりである。

委員長	古田 俊吉（富山大学経済学部教授）
委員	大島 哲夫（旧富山市前教育長）
委員	神川 康子（富山大学人間発達科学部教授）
委員	貴志 雅樹（富山大学芸術文化学部教授）
委員	山本 賢治（弁護士）

3. 審査結果

3.1 入札参加資格審査

応募グループは、以下の1グループであり、グループを構成する企業が入札説明書に示す参加資格の要件を満たしているかどうかを審査した。この結果、すべての企業が資格を満たしていることを確認した。

グループ名	構成企業名
ホクタテグループ	代表企業：株式会社ホクタテ 構成企業：近藤建設株式会社 タカノ建設株式会社 北陸電気工事株式会社 富山支店 株式会社日総建 株式会社押田建築設計事務所 コクヨ北陸新潟販売株式会社

3.2 加点項目審査

入札参加資格審査において適格とみなされたホクタテグループの提案について、事業者選定委員会において以下に示す加点審査項目について審査を行った。

【加点審査項目】

加点審査項目	配点
① 事業計画全般に関する事項	80
② 設計業務に関する事項	400
③ 建設業務に関する事項	80
④ 維持管理業務に関する事項	120
⑤ 入札者独自の提案に関する事項	120
合 計	800

【加点基準】

	評価水準	加点比率
A	要求水準を大幅に上回り、秀でたアイデアやノウハウを発揮。	100%
B	優れたアイデアは盛り込まれているが、要求水準をやや上回る程度。	50%
C	要求水準通り。可もなく不可もなく、極めて標準的。	0%
D	要求水準未達の可能性あり。もしくは、軽微な要求水準の未達があるが修正が可能。	-50%
E	重大な要求水準の未達が明白。	失格

3.3 性能評価点の算定結果

選定委員会において、前項の審査基準に基づく加点審査項目について加点基準に応じた得点（加点）を付与し、要求水準を充足している提案であることを確認した。加点に該当する提案内容を評価した結果を以下に示す。

加点審査項目	配点	応募グループの得点
		ホクタテグループ
① 事業計画全般に関する事項	80	40
② 設計業務に関する事項	400	16.5
③ 建設業務に関する事項	80	40
④ 維持管理業務に関する事項	120	60
⑤ 入札者独自の提案に関する事項	120	60
合計（性能評価点）	800	216.5

3.4 提案価格に対する価格評価点の結果

価格評価点は、提案価格を基に次式で算定した。価格評価点の計算にあたっては、小数点以下を四捨五入し、価格評価点の上限を 200 点とした（以下の式で求められる数値が 200 を超えるものは 200 点と読み替えるものとする）。また、提案価格について予定価格内であったことを確認した。

$$\text{価格評価点} = \left(\frac{-10.0 \times \text{提案価格}}{\text{予定価格}} + 10.0 \right) \times 200$$

項目	応募グループの得点
	ホクタテグループ
予定価格	3,744,561,000
提案価格	3,738,550,000
価格評価点	3

予定価格及び提案価格は、消費税等抜き、単位円で表記

3.5 総合評価

総合評価に際して、要求水準を充足していること、入札価格が予定価格以内であったことから、選定委員会においてホクタテグループが優秀提案として適格であることを確認した。

$$\text{総合評価点} = \text{性能評価点（加点項目審査：800点満点）} + \text{価格評価点（200点満点）}$$

加点審査項目	配点	応募グループの得点
		ホクタテグループ
性能評価点	800	216.5
価格評価点	200	3
総合評価点	1,000	219.5

3.6 落札者の決定

本市は、選定委員会からの報告を受けるとともに入札価格が予定価格以内であることを確認したうえでホクタテグループを落札者として決定した。

3.7 市の財政負担の削減効果

落札者の入札価格に基づき、本事業を PFI 事業として実施する場合の市の財政負担額を算定した。その結果、市が直接事業を実施する場合と比較して、現在価値換算で約 11.4%削減されることとなった。

	市が直接実施する場合	PFI 事業として実施する場合
財政負担額（現在価値）	3,798 百万円	3,365 百万円
指数	100.0	88.6